



トーカロ株式会社

2025年3月期 第2四半期決算 会社説明会

2024年11月11日

イベント概要

[企業名]	トーカロ株式会社		
[企業 ID]	3433		
[イベント言語]	JPN		
[イベント種類]	決算説明会		
[イベント名]	2025 年 3 月期 第 2 四半期決算 会社説明会		
[決算期]	2025 年度 第 2 四半期		
[日程]	2024 年 11 月 11 日		
[ページ数]	36		
[時間]	13:30 – 14:02 (合計：32 分、登壇：17 分、質疑応答：15 分)		
[開催場所]	インターネット配信		
[会場面積]			
[出席人数]			
[登壇者]	4 名		
	代表取締役 社長執行役員	小林	和也 (以下、小林)
	取締役 常務執行役員 管理本部長	後藤	浩志 (以下、後藤)
	経理部長	細見	憲司 (以下、細見)

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



経営企画部長

清水 浩 (以下、清水)

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



登壇

司会：皆様、こんにちは。それでは定刻となりましたので、ただいまからトーカロ株式会社様のIRミーティングを開催いたします。今回の説明会は会場での開催に加え、ライブ配信と併せたハイブリッド形式で開催いたします。まず、はじめに会社からお迎えしている方々をご紹介します。

代表取締役社長執行役員の小林和也様。

小林：小林です。よろしくお願いいたします。

司会：取締役常務執行役員管理本部長の後藤浩志様。

後藤：後藤です。よろしくお願いいたします。

司会：経理部長、細見憲司様。

細見：細見です。よろしくお願いいたします。

司会：経営企画部長、清水浩様。

清水：清水です。よろしくお願いいたします。

司会：本日は社長の小林様からお話をいただき、ご説明が終わりましたら、まず初めに会場からの皆様のご質問をお受けいたします。こちらが一巡しましたら、続きまして今回オンラインで参加されている方からもご質問を受ける予定です。

それでは小林様よろしくお願いいたします。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com





本日の内容

1. 第2四半期連結決算の概要
2. 2025年3月期 連結業績予想
3. 中期経営計画の進捗状況
4. トピックス

Copyright (c) TOCALO Co.,Ltd. All rights reserved.

小林： こんにちは。社長の小林です。本日はご多用の中、トーカロ株式会社の決算説明会にご参加いただき誠にありがとうございます。本日はリアルとライブ中継合わせて100名近い皆様にご参加いただいているようです。よろしくお願い申し上げます。

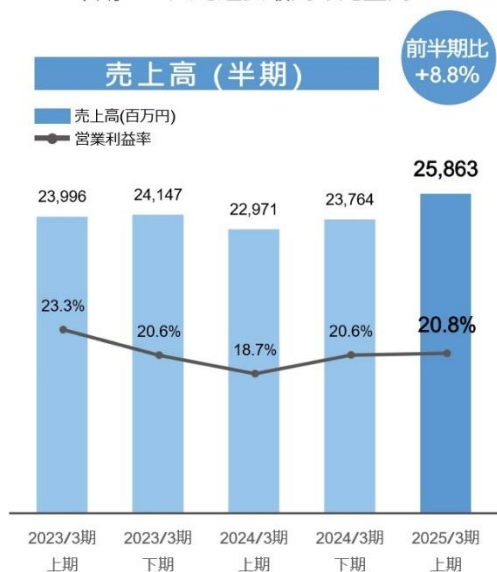
ご説明する内容はこの四つです。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

第2四半期連結決算 ハイライト

POINT 半導体分野が好調に推移し、
半期ベースで過去最高の売上高



POINT 経常利益も期初予想を上回り、
前半期比で8.9%伸長



Copyright (c) TOCALO Co.,Ltd. All rights reserved.

4

まず、2025年3月期第2四半期の決算概要をご説明します。半期ベースの実績を過去4四半期と比較したグラフを示します。左が売上高と営業利益率、右が経常利益と経常利益率です。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

2025年3月期 第2四半期連結決算の概要



- 半導体分野の受注増に伴い生産能力を段階的に引き上げており、売上高は前年同期比12.6%増
- 経常利益は、利益率の高い半導体分野の売上増加などにより、前年同期比20.3%増

(百万円)	2024/3期 上期		2025/3期 上期		前年同期比増減	
	実績	構成比	実績	構成比	金額	率
売上高	22,971	100.0%	25,863	100.0%	2,891	12.6%
営業利益	4,295	18.7%	5,383	20.8%	1,087	25.3%
経常利益	4,590	20.0%	5,520	21.3%	930	20.3%
親会社株主に帰属する中間純利益	2,985	13.0%	3,556	13.8%	570	19.1%
1株当たり中間純利益 (EPS)	49.42円	—	59.83円	—	10.41円	—

Copyright (c) TOCALO Co.,Ltd. All rights reserved.

5

当期の上期実績は売上高 258 億円、営業利益 53 億円、経常利益 55 億円。売上高は半導体分野が好調に推移し、半期ベースで過去最高となりました。経常利益についても、期初予想を上回り、前年下期に対して 8.9%増となりました。

半導体分野の受注増に伴い、下期に向けて生産能力を段階的に引き上げている状況ではありますが、上期の売上高は前年同期比 12.6%増でした。経常利益は、利益率の高い半導体分野の売上増加などにより、前年同期比 20.3%増となりました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

6

2025年3月期 第2四半期売上高(分野別)

- 最大セグメントの溶射加工(単体)は、すべての分野が好調に推移し、前年同期比15.4%増
- その他表面処理加工は、農業機械部品向けで顧客の在庫調整があり減収
- 海外子会社は、半導体関連を中心に好調に推移し、前年同期比13.7%増

(百万円)	2024/3期 上期		2025/3期 上期		前年同期比増減	
	実績	構成比	実績	構成比	金額	率
売上高	22,971	100.0%	25,863	100.0%	2,891	12.6%
■ 溶射加工(単体)	16,748	72.9%	19,325	74.7%	2,577	15.4%
半導体・FPD	9,737	42.4%	11,395	44.1%	1,657	17.0%
産業機械	2,224	9.7%	2,370	9.2%	145	6.5%
鉄鋼	1,746	7.6%	2,029	7.8%	283	16.2%
その他	3,039	13.2%	3,530	13.6%	490	16.1%
■ その他表面処理加工	1,515	6.6%	1,381	5.4%	△134	-8.9%
■ 国内子会社	1,230	5.4%	1,191	4.6%	△38	-3.1%
■ 海外子会社	3,422	14.9%	3,890	15.0%	467	13.7%
受取ロイヤリティー等	54	0.2%	73	0.3%	19	35.2%

Copyright (c) TOCALO Co.,Ltd. All rights reserved.

6

最大セグメントの溶射加工（単体）は、すべての分野で好調に推移し、前年同期比 15.4%増となりました。その他表面処理加工は、農業機械部品向けで顧客の在庫調整があり減収となっています。海外子会社は半導体関連を中心に好調に推移し、前年同期比 13.7%増でした。

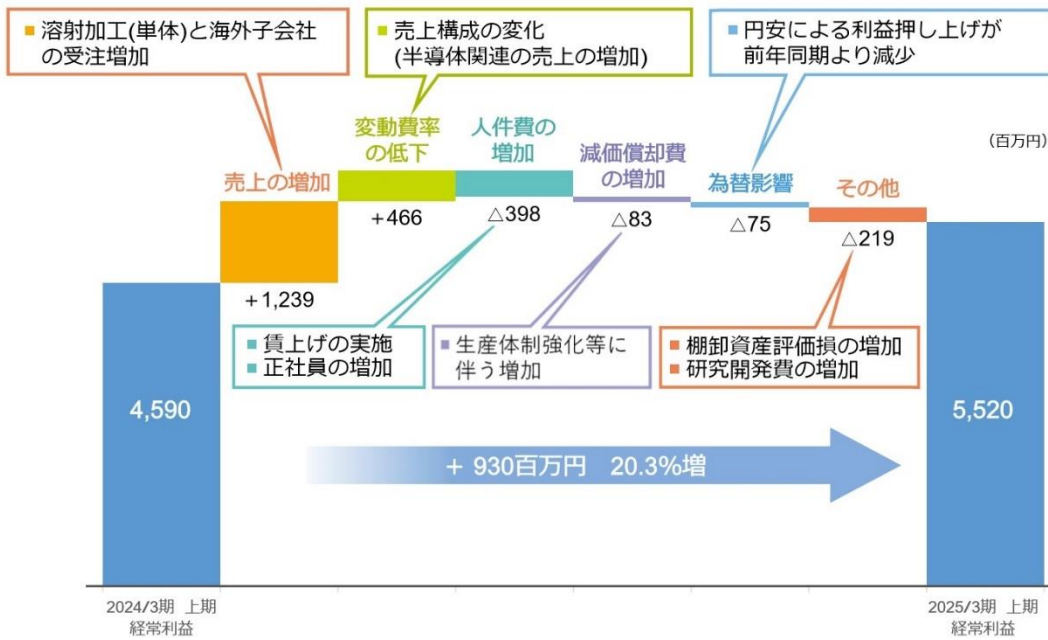
サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

Asia's Meetings, Globally

7

前年同期比 経常利益 増減要因分析



Copyright (c) TOCALO Co.,Ltd. All rights reserved.

7

経常利益の前年同期比増減分析です。当期上期の経常利益は55億2,000万円と、前年同期比9億3,000万円増加いたしました。主な要因は、プラス要因として売上増加、売上構成の変化など。マイナス要因として、人件費増加などがありました。為替影響については、円安による利益押し上げが前年同期よりも7,500万円減りました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

第2四半期連結決算 セグメント別

溶射加工(単体)

半導体・FPD分野をはじめ、産業機械、鉄鋼、その他の各分野が好調に推移し、増収増益

前年同期比増減率 売上高 +15.4%
セグメント利益 ... +36.4%



Copyright (c) TOCALO Co., Ltd. All rights reserved.

国内子会社

自動車生産停滞の影響で切削工具関係の受注が振るわず、減収減益

前年同期比増減率 売上高 △3.1%
セグメント利益 ... △44.7%



8

セグメント別の売上利益について、前年同期との比較です。溶射加工（単体）は半導体・FPD分野を初め、産業機械、鉄鋼、その他の各分野が好調に推移し、増収増益となりました。国内子会社は、自動車生産停滞の影響で切削工具関連の受注が振るわず、減収減益となりました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

第2四半期連結決算 セグメント別

海外子会社

半導体関連を中心とする売上伸長のほか、円安の影響も加わり、増収増益

前年同期比増減率 売上高 +13.7%
セグメント利益 ... +36.5%



Copyright (c) TOCALO Co.,Ltd. All rights reserved.

その他表面処理加工

顧客の在庫調整により農業機械部品向けの受注が減少し、減収減益

前年同期比増減率 売上高 △8.9%
セグメント利益 ... △26.7%



9

海外子会社は、半導体関連を中心とする売上伸長の他、円安の影響も加わり、増収増益となりました。その他表面処理加工は、顧客の在庫調整により農業機械部品向けの受注が減少し、減収減益となりました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



セグメント情報



- 溶射加工(単体) および海外子会社は、半導体関連を中心とする売上伸長により利益が大幅増
- 国内子会社およびその他表面処理加工は、それぞれ主力品の受注が減少し利益率低下

(百万円)	2024/3期 上期		2025/3期 上期		前年同期比増減			
	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益	売上高		セグメント利益	
					金額	率	金額	率
■ 溶射加工(単体)	16,748	3,171	19,325	4,324	2,577	15.4%	1,153	36.4%
■ 国内子会社	1,230	284	1,191	157	△38	-3.1%	△127	-44.7%
■ 海外子会社	3,422	887	3,890	1,211	467	13.7%	323	36.5%
■ その他表面処理加工	1,515	260	1,381	190	△134	-8.9%	△69	-26.7%
合 計	22,917	4,604	25,789	5,884	2,872	12.5%	1,279	27.8%

(注)売上高のうち「受取ロイヤリティー等」は含まれておりません。

各セグメントの売上利益について前年同期比の一覧表を示します。セグメントごとに明暗が分かれました。溶射加工（単体）および海外子会社は、半導体関連を中心とする売上伸長により利益が大幅増加いたしました。国内子会社およびその他表面処理加工は、それぞれ主力品の受注が減少し、利益率が低下しました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com





財政状態



- 総資産は、前期末比2億円の減少（現金及び預金：△31億円、固定資産：+27億円）
- 自己資本比率は、前期末比3.6ポイント上昇の74.8%
- 有利子負債は、前期末比4億円の減少

(百万円)	2024/3期		2025/3期
	2Q末	4Q末	2Q末
総資産	75,226	77,940	77,687
自己資本	54,186	55,460	58,072
自己資本比率	72.0%	71.2%	74.8%
有利子負債残高	2,358	5,002	4,582

第2四半期末の財政状態です。総資産は776億円、自己資本は580億円、自己資本比率は、利益剰余金が積み上がり、前期末比3.6%上昇の74.8%となりました。有利子負債は新規借入もなく、前期末比4億円減少し、45億円となりました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com





キャッシュ・フローの状況



- 当期のフリーキャッシュ・フロー（営業CF + 投資CF）は△7億円
- 投資CF / 有形固定資産の取得
買収・株式取得 前期：△16億円 当期：△28億円
前期： — 当期：△12億円（寺田工作所、タイ完全子会社化）
- 財務CF / 配当金の支払額
自己株式の取得 前期：△16億円 当期：△16億円
前期：△14億円 当期： —

(百万円)	2024/3期 上期	2025/3期 上期
営業キャッシュ・フロー	4,422	2,696
投資キャッシュ・フロー	△ 1,294	△ 3,404
財務キャッシュ・フロー	△ 3,803	△ 2,546
現金及び現金同等物の期末残高	18,995	16,594

上期のキャッシュ・フローの状況です。営業キャッシュ・フローがプラス 27 億円、投資キャッシュ・フローはマイナス 34 億円で、フリーキャッシュ・フローはマイナス 7 億円でした。

これは仕入れ先に対する支払サイトの短縮で、約 30 億円のキャッシュアウトが生じたことや、積極的な設備投資、買収等を実施したことによります。

財務キャッシュ・フローは配当と借入返済などでマイナス 25 億円。その結果、当期第 2 四半期末のキャッシュ残高は 165 億円となりました。


サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



売上高と経常利益の見通し

【2024年5月9日発表の業績予想を修正】



POINT 半導体関連を中心に
好調な受注が見込まれる



POINT 経常利益は半導体分野の復調などにより
過去最高益を更新する見通し



Copyright (c) TOCALO Co.,Ltd. All rights reserved.

2025年3月期の連結業務予想についてご説明します。上期実績が前回予想を上回り、下期も半導体関連を中心に好調な受注の継続が見込まれるため、通期の業績予想を上方修正しました。通期で売上高530億円、経常利益115億円を目指します。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com





親会社株主に帰属する当期純利益と ROE の見通し



POINT 親会社株主に帰属する当期純利益は前期比18.5%増
ROEは13.0%に上昇



Copyright (c) TOCALO Co.,Ltd. All rights reserved.

親会社株主に帰属する当社純利益と ROE の通期予想です。純利益は 75 億円、ROE は 13%に上昇する見通しです。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



2025年3月期 連結業績予想 (修正の概要)



(百万円)	2025/3期 通期				5月発表予想比増減	
	5月発表予想	構成比	今回修正予想	構成比	金額	率
売上高	51,000	100.0%	53,000	100.0%	2,000	3.9%
■ 溶射加工(単体)	37,632	73.8%	38,315	72.3%	682	1.8%
半導体・FPD	23,005	45.1%	23,795	44.9%	790	3.4%
産業機械	4,603	9.0%	4,640	8.8%	37	0.8%
鉄鋼	4,037	7.9%	3,950	7.5%	△87	-2.2%
その他	5,987	11.8%	5,930	11.1%	△57	-1.0%
■ その他表面処理加工	2,738	5.4%	2,760	5.2%	22	0.8%
■ 国内子会社	2,708	5.3%	2,775	5.2%	67	2.5%
■ 海外子会社	7,771	15.2%	9,000	17.0%	1,229	15.8%
受取ロイヤリティー等	150	0.3%	150	0.3%	0	-0.1%
営業利益	10,500	20.6%	11,500	21.7%	1,000	9.5%
経常利益	10,500	20.6%	11,500	21.7%	1,000	9.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	6,880	13.5%	7,500	14.2%	620	9.0%
1株当たり当期純利益 (EPS)	115.75円	—	126.16円	—	10.41円	—
自己資本利益率 (ROE)	12.0%	—	13.0%	—	1.0pt	—

Copyright (c) TOCALO Co., Ltd. All rights reserved.

16

5月発表予想に対する今回修正予想の増減明細です。売上高を20億円上方修正しました。その主な内訳は、半導体・FPD分野で約8億円、海外子会社で約12億円の増加です。営業利益、経常利益はともに10億円プラス。当期純利益は6円のプラスとしています。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



2025年3月期 連結業績予想 (前期実績比)

(百万円)	2024/3期 通期		2025/3期 通期		前期実績比増減	
	実績	構成比	修正予想	構成比	金額	率
売上高	46,735	100.0%	53,000	100.0%	6,264	13.4%
■ 溶射加工(単体)	33,859	72.4%	38,315	72.3%	4,455	13.2%
半導体・FPD	19,557	41.8%	23,795	44.9%	4,237	21.7%
産業機械	4,923	10.5%	4,640	8.8%	△283	-5.8%
鉄鋼	3,651	7.8%	3,950	7.5%	298	8.2%
その他	5,727	12.3%	5,930	11.1%	202	3.5%
■ その他表面処理加工	3,019	6.5%	2,760	5.2%	△259	-8.6%
■ 国内子会社	2,457	5.3%	2,775	5.2%	317	12.9%
■ 海外子会社	7,257	15.5%	9,000	17.0%	1,742	24.0%
受取ロイヤリティ等	141	0.3%	150	0.3%	8	5.7%
営業利益	9,197	19.7%	11,500	21.7%	2,302	25.0%
経常利益	9,662	20.7%	11,500	21.7%	1,837	19.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	6,326	13.5%	7,500	14.2%	1,173	18.5%
1株当たり当期純利益 (EPS)	105.53円	—	126.16円	—	20.63円	—
自己資本利益率 (ROE)	11.6%	—	13.0%	—	1.4pt	—

Copyright (c) TOCALO Co.,Ltd. All rights reserved.

17

前期実績との比較表です。売上高予想は前期実績比 62 億円増で、その主な内訳は半導体・FPD の 42 億円、海外子会社のプラス 17 億円です。経常利益予想は、前期実績比 18 億円増の 115 億円で、利益率は 21.7%になります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

17

2025年3月期 第2四半期 進捗率



(百万円)	2025/3期 上期		2025/3期 通期		上期実績 進捗率
	実績	構成比	修正予想	構成比	
売上高	25,863	100.0%	53,000	100.0%	48.8%
■ 溶射加工(単体)	19,325	74.7%	38,315	72.3%	50.4%
半導体・FPD	11,395	44.1%	23,795	44.9%	47.9%
産業機械	2,370	9.2%	4,640	8.8%	51.1%
鉄鋼	2,029	7.8%	3,950	7.5%	51.4%
その他	3,530	13.6%	5,930	11.1%	59.5%
■ その他表面処理加工	1,381	5.4%	2,760	5.2%	50.1%
■ 国内子会社	1,191	4.6%	2,775	5.2%	42.9%
■ 海外子会社	3,890	15.0%	9,000	17.0%	43.2%
受取ロイヤリティ等	73	0.3%	150	0.3%	49.1%
営業利益	5,383	20.8%	11,500	21.7%	46.8%
経常利益	5,520	21.3%	11,500	21.7%	48.0%
親会社株主に帰属する当期(中間)純利益	3,556	13.8%	7,500	14.2%	47.4%
1株当たり当期(中間)純利益 (EPS)	59.83円	—	126.16円	—	47.4%

Copyright (c) TOCALO Co.,Ltd. All rights reserved.

18

通期業績予想に対する上期実績の進捗率です。売上高の上期進捗率は48.8%、経常利益については48%と、いずれも下期の更なる伸びを想定しています。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



2025年3月期 下期予想

POINT 下期も半導体関連を中心に
さらに好調な受注が見込まれる

POINT 下期の経常利益は、半期ベースで
過去最高だった60億円に迫る



Copyright (c) TOCALO Co., Ltd. All rights reserved.

19

下期予想を過去5半期と比較したグラフです。左側は売上高と営業利益率、右が経常利益と経常利益率です。下期も半導体関連を中心に、さらに好調な受注が見込まれることから、売上高と経常利益の下期予想を引き上げました。

下期の経常利益は、半期ベースで過去最高だった2023年3月期の上期60億円に迫る見通しです。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



半導体・FPD分野の売上推移



POINT 半導体分野の在庫調整が一巡し受注が復調する
 上期の受注実績は12,653百万円（前年同期比22.9%増）



Copyright (c) TOCALO Co.,Ltd. All rights reserved.

20

半導体・FPD 分野の売上推移です。当期の予想は 237 億円、うち半導体が 222 億円、FPD が 15 億円です。この通期予想に対し、上期の売上実績は 113 億円で、進捗率 47.9%となっています。なお、売上の先行指標となる受注実績が、上期 126 億円と伸びています。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com





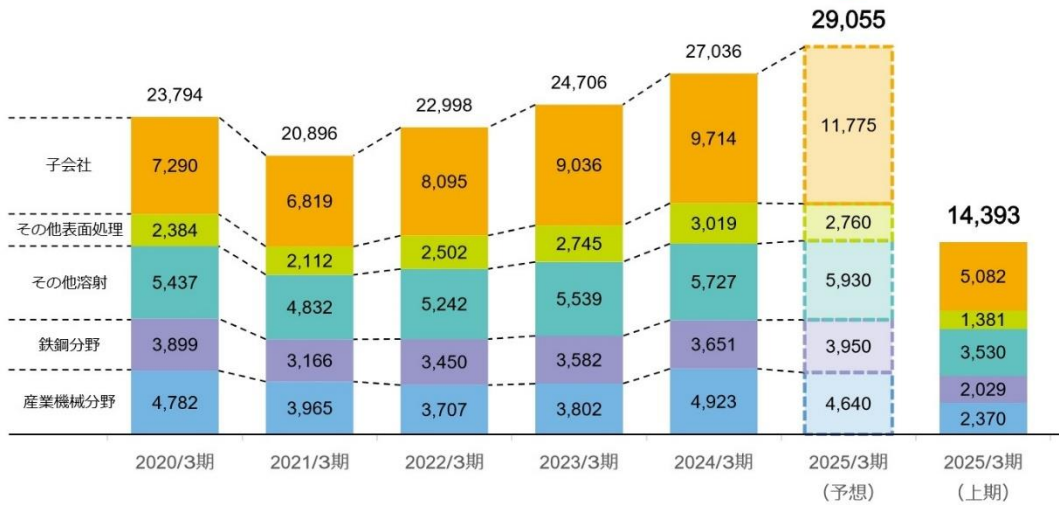
半導体・FPD分野以外の売上推移



半導体・FPD分野以外の売上高は前期比7.5%増を見込む
子会社が半導体関連を中心に大きく伸長する見通し

前期比
+7.5%

(百万円)



(注)売上高のうち「受取ロイヤリティー等」は含まれておりません。

Copyright (c) TOCALO Co.,Ltd. All rights reserved.

半導体・FPD 分野以外の売上推移です。当期の予想は 290 億円と、前期の 270 億円から 7.5%の増加を見込んでいます。この通期予想に対し、上期の実績は 143 億円で、進捗率 49.5%となっています。子会社が半導体関連を中心に大きく伸長することを見込んでいます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



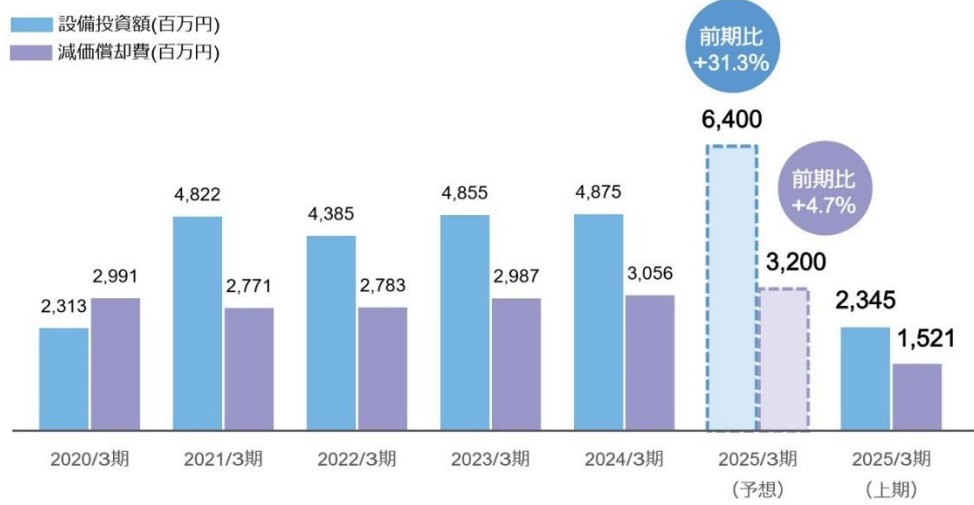


設備投資額と減価償却費



POINT 2025年3月期の設備投資予定額 64億円

- トーカロ 50億円：神戸工場新棟建設、増産対応・生産効率化、研究設備増強など
- 国内子会社 4億円：生産能力増強など
- 海外子会社 10億円：東賀隆(昆山)・漢泰国際電子(台湾)での新工場立ち上げなど



Copyright (c) TOCALO Co.,Ltd. All rights reserved.

22

設備投資額と減価償却費の推移です。当期予想は期初計画から変更なく設備投資額 64 億円、減価償却費 32 億円を見込んでいます。設備投資額は通期予想 64 億に対し、上期の実績は 23 億円で、進捗率 36.7%という状況です。

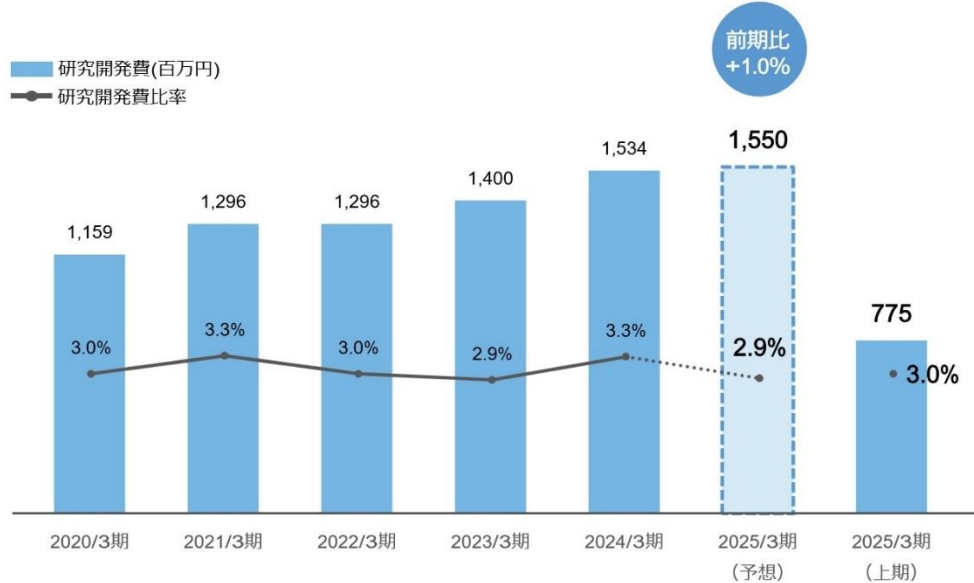
サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



研究開発費 TOCALO

POINT 研究開発費は連結売上高比で3%程度を維持



Copyright (c) TOCALO Co.,Ltd. All rights reserved.

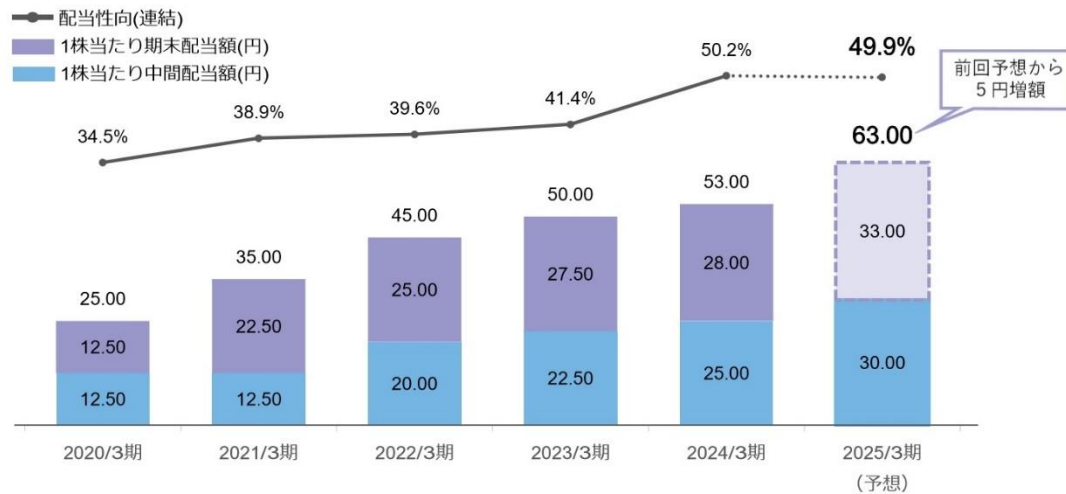
研究開発費の推移です。当期の研究開発費は15億5,000万円、売上高比率2.9%を見込んでいます。この通期予想に対し、上期の実績は7億7,500万円で、進捗率50%となっています。

1株当たり配当額と配当性向の推移

POINT 2025年3月期の年間配当は、前回予想から5円増額の63円(配当性向49.9%)を予定

株主還元方針

- 連結配当性向50%程度および純資産配当率(DOE)5%以上を目標とする
- 自己株式の取得も、事業環境や財務状況などを考慮しつつ機動的に実施



Copyright (c) TOCALO Co.,Ltd. All rights reserved.

24

配当額と配当性向の推移です。業績予想の見直しに伴い、当期の中間配当は前回予想から2円増額の30円、期末配当予想は3円増額の33円といたしました。年間配当としては、前回予想から5円増額の63円を予定しています。配当性向49.9%となります。

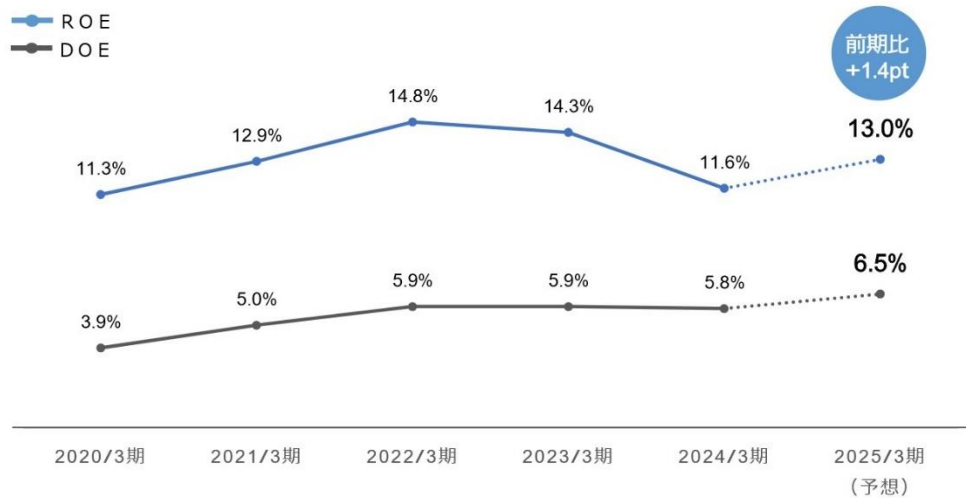
サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



ROEとDOEの推移

POINT ROE (自己資本利益率) の改善に伴い、DOE (純資産配当率) は6.5%となる見込み



※ ROE (自己資本利益率) = 当期純利益 / 期中平均自己資本
 ※ DOE (純資産配当率) = 1株当たり配当金 / 期中平均1株当たり純資産 (= ROE × 配当性向)

Copyright (c) TOCALO Co.,Ltd. All rights reserved.

ROE と純資産配当率 DOE の推移です。当期は ROE が 13% に改善し、純資産配当率は 6.5% となる見込みです。

サポート

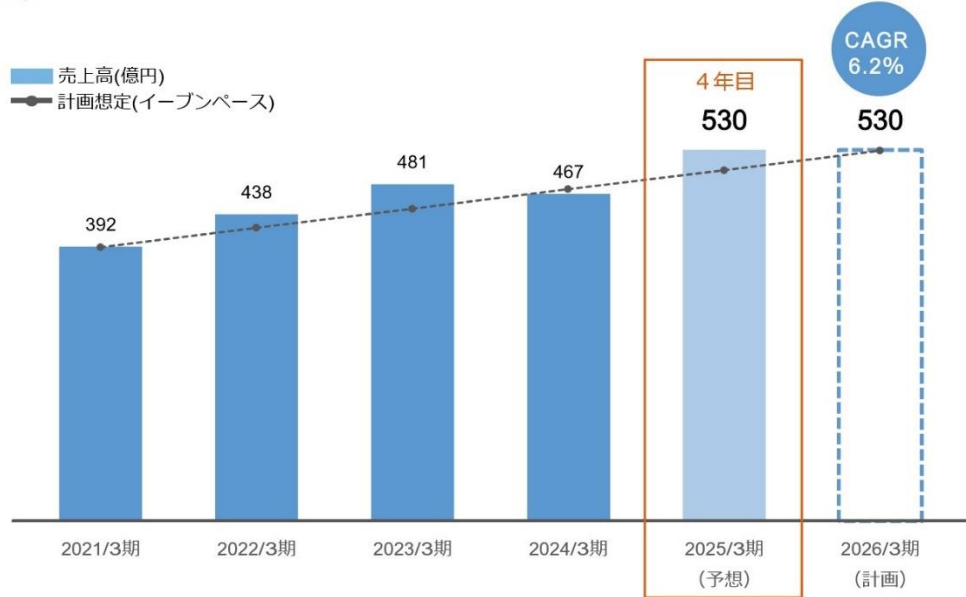
日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



中期経営計画 (売上高) の進捗状況



POINT 2025年3月期の売上高は、中計目標530億円を1年前倒しで達成すると予想



Copyright (c) TOCALO Co.,Ltd. All rights reserved.

27

続いて、中期経営計画の進捗状況についてご説明します。当期は5カ年計画の4年目に当たります。まず売上高ですが、当期は中期経営計画の売上目標である530億を1年間前倒しして達成できそうです。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

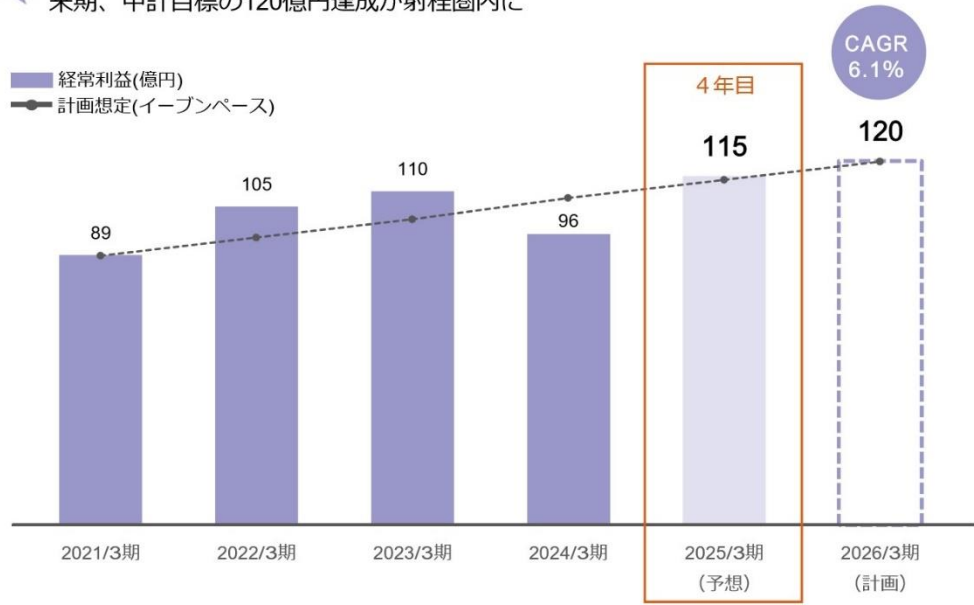




中期経営計画 (経常利益) の進捗状況



POINT 2025年3月期の経常利益予想は、計画どおりの水準まで回復
来期、中計目標の120億円達成が射程圏内に



Copyright (c) TOCALO Co.,Ltd. All rights reserved.

経常利益の進捗についてですが、当期予想 115 億円で、計画通りの水準まで回復してきています。来期は中期経営計画の経常利益目標 120 億円の達成が射程圏内に入りました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com





タイ合併会社を完全子会社化



新社名：TOCALO Surface Technology (Thailand) Co., Ltd.

- 2012年10月、ナイスグループ (溶接関連事業) と合併会社 NEIS & TOCALO (Thailand) を設立し、タイの溶射加工市場 (鉄鋼、産業機械分野) に参入
- 2024年6月、ナイスグループが保有する株式 (51%) を追加取得し完全子会社化
経営資源を溶射加工事業に集中し業容拡大を図る
- 2024年7月、商号変更および7千万タイバーツ (約3億円) の増資を実施
- 現在、新工場建設中 (2024年8月着工、2025年10月竣工、2026年2月稼働)

直近期の経営成績

	2023年12月期
純資産	158百万THB
総資産	170百万THB
売上高	79百万THB
営業利益	3百万THB
経常利益	3百万THB
当期純利益	2百万THB

1THB (タイバーツ)=約4.5円



Copyright (c) TOCALO Co.,Ltd. All rights reserved.

30

最後に、中間期のトピックスを三つご紹介いたします。トピックスの一つ目は、タイ合併会社の完全子会社化です。2012年10月に、ナイス社、溶接事業を行っている会社さんと、合併会社 NEIS & TOCALO (Thailand) を設立し、タイで溶射加工と溶接加工の事業を行ってききましたが、同社の経営資源を溶射加工事業に集中し、業容の拡大を図るため、今年6月にナイスグループの保有株式51%を追加取得し、完全子会社化しました。その後、商号変更と3億円の増資を行い、現在は新工場を建設中です。新工場は2026年2月の稼働を予定しています。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com





(株)寺田工作所の全株式を取得



- 2024年8月、寺田工作所 (機械加工事業) の全株式を取得し子会社化
- 寺田工作所は、多様な素材を用いて精密部品を製造することのできる優れた機械加工技術を持つ
- 当社の表面改質技術と組み合わせることで、お客様への提供価値の更なる向上が見込める
- 今後、人財交流をスタートし、技術協力 (溶射前後の機械加工など) や素材製作などを検討

直近期の経営成績

	2023年7月期
純資産	469百万円
総資産	806百万円
売上高	408百万円
営業利益	92百万円
経常利益	107百万円
当期純利益	78百万円



Copyright (c) TOCALO Co.,Ltd. All rights reserved.

31

トピックスの二つ目ですが、2024年8月に寺田工作所という機械加工事業を行っている年商約4億円の会社の全株式を取得し子会社にしました。寺田工作所は、多様な素材を用いて精密部品を製造することのできる優れた機械加工技術を持っており、当社の表面改質技術と組み合わせることで、お客様への提供価値の更なる向上が見込まれると考えています。

今後、人財交流をスタートして技術協力、溶射前後の機械加工なんかを中心にやっていただこうと思っていますが、それや素材制作などを検討していく予定です。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



初めての統合報告書を発行



当社初の統合報告書を10月31日に発行しました。

当社は、非財務資本（人財、知財、製造設備、環境対応など）を強化・活用して、より良い製品・サービスを生み出します。このプロセスを通じて当社の持続的成長を実現するとともに、「人と自然の豊かな未来に貢献する」ことを目指しており、その取り組み状況を掲載しました。



Copyright (c) TOCALO Co.,Ltd. All rights reserved.



トピックスの三つ目として、当社初となる統合報告書を10月31日に発行しました。当社は人財、知財、製造設備、環境対応など非財務資本を強化・活用して、より良い製品・サービスを生み出しています。

このプロセスを通じて持続的成長を実現するとともに、人と自然の豊かな未来に貢献することを目指しており、その取り組み状況を掲載しました。内容をもっと充実させるために、皆様のご意見ご感想を参考にさせていただきたいと思っております。忌たんのない意見をお願いいたします。

ご説明は以上です。ご清聴ありがとうございました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



質疑応答

司会 [M]：小林様、ご説明ありがとうございました。

それではご案内の通り、まず初めに会場にお集まりの皆様からのご質問をお受けいたします。オンラインでご参加の方は、会場での質疑応答の間に、画面下の Q&A 機能にてご質問をお送りいただけます。

なお、この IR ミーティングは質疑応答の部分も含め、全文を書き起こして公開する予定です。ご質問の際に会社名、氏名を名乗られますと、そのまま公開されますので、この点をご了解いただければと思います。

それでは、会場の皆様でご質問のある方は挙手を願います。係がマイクお持ちいたします。どうでしょうか。

質問者 [Q]：ご説明ありがとうございました。M&A の話になりますが、基本的に今後、足元のところでは、タイの合弁会社の TOCALO Surface Technology さんと寺田工作所さんの新会社設立ですとか、PMI といいますか、統合、人材交流という文言もございますが、こういったところに経営を集中、またリソースを集中していくということで、別途、新たな M&A、そういったご検討はあまりされていないという理解でしょうか。お願いします。

話者 [A]：ありがとうございます。今回、トピックスとして、タイの合弁会社と寺田工作所さんの話をしましたが、当社としては、新工場建設であったり、今まで培ってきたお客さんのその製品群を今すごく大切にしていまして、先ほどから話しておりますとおり、やはり半導体業界の拡大に向けて、今すごく一生懸命投資をしています。

なので、今回トピックスとしては、その辺を挙げさせてもらいましたが、そこに全精力をあげてというわけではなくて、やはり中心は今、伸びつつあるビジネスというものを大切に、国内の生産をどうやって上げていくのかを、やはりメインでやらせて頂いております。

質問者 [M]：よく、わかりました。ありがとうございます。

司会 [M]：それでは他の方がいかがでしょうか。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



質問者 [Q]：ご説明ありがとうございました。先ほどの説明の中で、中計に対する進捗なのですが、売上高で、今期でほぼ1年前倒し達成、利益もかなりの進捗ということですが、今後来期にかけて、この中計の目標の数値をまた上方修正されていく可能性も今後出てくるのでしょうか。

話者 [A]：ちょうど来期は私ども中計を見直す年、最終年度になっていまして、そこでもう一度来期について、多分ものすごく検討すると思いますので、次の中期経営計画の数字を引き上げるのか、今の現行の中計を見直すかというのを、来期検討したいと思っています。

質問者 [M]：わかりました。ありがとうございます。

タケシタ [Q]：ご説明ありがとうございました。初めて今日出席させていただきます、NEC キャピタルのタケシタと申します。よろしくお願いします。

二つ質問させていただきたいのですが、足元の業績は非常に順調に伸長されていると思いますが、こちらにはデータ開示されていませんけれど、受注の状況もよろしいのでしょうか。その辺り、来期以降の見通しということで、社長個人のご意見でも結構なのですが、受注状況を教えていただきたいと思っています。それが1点目です。

それから、二つ目ですけれども、海外のビジネスについて国内と海外と両方あると思うのですが、どのあたりが強く伸びを感じていらっしゃるのか教えていただけたらと思います。

ちょっと私の質問がとんちんかんなのかもしれませんが、このセグメントの情報など、10ページについて、溶射加工と国内子会社、海外子会社とありますが、その溶射加工(単体)のところでの売り上げが、海外と国内と二つあるのかなと思っていまして、全体に国内と海外どのような伸びを見込んでおられるのか、分けてご説明いただけたらと思います。よろしくお願いします。

話者 [A]：まず受注状況について、現状われわれお客様がおられるので、あまりはっきりとは言えないのですが、鉄鋼さんだとか、業界によっては先行き不透明なところも確かにあるのですが、現段階において半導体業界は右肩上がり、どんどん、どんどん、上昇していく。われわれとしても生産キャパをしっかりと確保するよという、話で推移しています。今年、来年、それどころか2030年に向けてどんどん推移していくということがあります。

あと、航空機関連も、大きなウエートではないのですが、徐々に拡大していくという情報をつかんでいます。今、今年、来年で抑えられるということはあんまり心配していません。

ただ今、国内の半導体製造キャパをどう増やしていくのか、われわれのテーマとなっています。その課題を克服していくために、いろんな投資をしていかないとけないというのを決断している状況です。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



あと、海外子会社の伸びが今結構多く、海外拠点で半導体ビジネスを中心とした受注増加、それから生産増加が進んでいっています。確かに海外はちょっと不透明な部分もあるのですが、中国とアメリカの関係もやはりありまして、中国生産をどこまでにするか、確かに不安な部分も若干はありますが、それでも半導体業界の今までの推移というか、われわれが今、装置メーカーさんからお聞きしている半導体業界のこれからの成長推移は、やはり 2030 年に向けてご存知の通り、ファブ数が倍増していく。

既にもう日本でも TSMC さんとか Rapibus さんだとか、キオクシアさんだとか、日本国内でもかなり生産工場が出来てきていますが、海外拠点でもかなり多くのファブを作るという予想が出ています。その数からすると、今停滞し、今の時点はもしかしたらちょっと止まったり、いろんなことはあるかもしれないけれども、2030 年に向けて、このファブが本当に達成していくとするならば、その旺盛な需要は継続していくものだと理解しています。海外子会社の今、売上比率は、およそ 20% になってきましたけれど、これからもっと拡大していければと思っています。以上です。

タケシタ [M]：はい、ありがとうございました。

司会 [M]：それでは他にご質問ある方いらっしゃいますでしょうか。それではオンラインでご質問いただいております。お 1 人から 3 点来ておりますので、一つずつお願いいたします。

質問者 [Q]：半導体産業の長期的な成長は確実だと思われませんが、最近、小林社長がお客様、例えば東京エレクトロン様などとの面談で、半年前と比べて変化、少しトーンダウンしているとか、そのような感じがありますでしょうか。この点を教えてください。

話者 [A]：はい。今のところメーカー様の意気込みというか、予想はやはり 2030 年に向けてさらに強くなっていくと、われわれの営業も含めて、われわれ上層部も把握しております。

質問者 [Q]：ありがとうございました。

2 点目ですが、貴社の工場を米国などに展開していく必要はないのでしょうか。トランプさんとの絡みでの質問です。

話者 [A]：当社は TOCALO USA というアメリカに一つ拠点を持っております。それから、現状はまだその拠点が独立して利益を出すほどの拠点にはなれなくて、ただ、これからアメリカでの TSMC さんの投資とか、それ以外でもやはりビジネス拡大を要求される部分もあって、トーカロもアメリカに拠点を作らないといけないのかなとは、構想する段階に入ったという状況にあります。来年、再来年あたりでは何かしらの報告ができればいいなと思います。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



質問者 [Q]：ありがとうございました。最後 3 点目です。鉄鋼産業とかベアリング産業向けの溶射加工は来期以降増えるという見方でしょうか。

話者 [A]：一般産業部門の中に入っているのですけれど、われわれの中ではそういうふうにかテゴライズしています。鉄鋼屋さんはちょっと難しいという気もしますが、われわれはお客様に一つのもを提供しているわけではないので、製品群を拡大して、お客さんにもっと今までとは違うプラスアルファをして、全体としては増加させていく方向で、今、営業、製造は必死にやっていますので、分野としてはちょっと難しいかもしれないけれども、トーカロとしては本気で取り組んで、拡大方向を狙いたいと思っています。

ベアリングについても、徐々に、その価値が認められつつあって、海外展開をされるのではないかという話もあったのですが、ここに来て、やはり日本のベアリングを、技術は高いという評価を受け直した格好になっています。そういう点では、この先も、未来永劫とは言わないですが、3年、5年の中期に見通しては、これからも拡大していこうと思っているし、そのように聞いています。

司会 [M]：ありがとうございました。

それではご質問もないようですので、以上をもちましてトーカロ株式会社様の IR ミーティングを終了いたします。

小林様ありがとうございました。また会場の皆様、ご来場いただきありがとうございました。

[了]

脚注

1. 音声不明瞭な箇所については[音声不明瞭]と記載
2. 会話は[Q]は質問、[A]は回答、[M]はそのどちらでもない場合を示す

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、SCRIPTS Asia 株式会社（以下、「当社」という）は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用してはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて利用者の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して利用者が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

